

## 11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなる	－	－
	やや良くなる	一般小売店〔靴・袋物〕（経営者）	・中国などからの観光客が、今よりも増えてくる。
		百貨店（営業企画）	・今月は店舗企画の月ずれにより大きく伸長することは無いが、基本的には4月の改装効果がまだ続くともみられ、前年の売上はクリアできると見込まれる。
		コンビニ（経営者）	・キャンペーンによる商品の予約がやや増加傾向である。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・東日本大震災後から少しずつ回復している上に、10月はイベントが多く、ある程度の需要が期待できそうである。
		通信会社（店長）	・現在の好調の波に、年末の新商品が加わるため、販売が更に伸びるとの期待が持てる。
		通信会社（サービス担当）	・携帯電話サービス会社が米国大手電子機器メーカーと提携したため、通信端末の販売増が見込まれる。
		住宅販売会社（総務・企画分野）	・県内は東日本大震災の影響が意外と少ないようにみえる。また年末年始の季節的な要因もあり、住宅展示場への来場が増え、良い方向に行くと考えられる。
	変わらない	スーパー（企画担当）	・来客数、販売点数は伸び悩むと考えられるが、食油や乳製品の値上がりの影響で1品単価が前年を上回り、売上は比較的堅調に推移すると考えられる。
		スーパー（販売企画担当）	・福島第一原子力発電所事故の影響により、生鮮食料品の回復は3か月後も見込めない。
コンビニ（経営者）		・食事関連商品の改良が進み、客の評価が上がってきているので、来客数は今月と同様の推移をすると見込む。	
コンビニ（エリア担当）		・客単価は前年より20円上がっているが、たばこで80円押し上げただけで、たばこ以外の商品は60円下がっている。来客数減もあるが、できるだけ余分な物は買わない、安い物を買うといった意識が表れており、今後も継続する。	
コンビニ（エリア担当）		・たばこ増税から1年が経過する10月以降も、県内の消費意欲、観光客の動向に大きな変化は無いと判断する。	
衣料品専門店（経営者）		・客の購入パターンが変化している。前年では、次のシーズンの先買いをする客が多かったが、今はそういう客はかなり減っており、買い控えが続くとみる。	
その他専門店〔書籍〕（店長）		・ここ3か月の販売量、来客数とも例年どおりで前年比をどうにか維持している現状であり、これから3か月が急に良くなることは期待できない。	
観光型ホテル（マーケティング担当）		・現時点での見込みとしては、前年を上回る稼働率が続くこと予測している。引き続き円高傾向が強く、海外旅行との競合も予測されるが、今のところの予約受注は前年を上回っている。	
やや悪くなる	－	－	
悪くなる	商店街（代表者）	・最近、東日本大震災や外部の大型店の影響もあってか、来客数が微妙に減っている。今後も来客数が増える状況にはならない。	
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・地元客の平日の夕食回数が増えていかなければ、極端な低価格、無料サービス、無謀な客引きなど店舗間の客の奪い合いで、お互いの首を絞めて苦しい状態が続いていく。	
企業動向 関連	良くなる	－	－
	やや良くなる	建設業（経営者）	・引き合い件数が増加しているので、先行きに期待できる。
		通信業（営業担当）	・本土大手企業の情報では仕事は確実に増えてきているので、今後は沖縄側での人材確保が課題となる。
	変わらない	輸送業（営業担当）	・本土企業の新規参入における物流業務受注は若干はあるものの、コスト競争の激化で収益はあまり期待できない状況である。陸上、海上輸送業務の燃料単価については、依然高止まりではあるが、若干安くなる傾向がある分持ち出しコストが減り、収益は良くなるとみられる。
		輸送業（代表者）	・東日本大震災の影響や、変動が激しい燃料価格の問題等不安要素は多いが、当面は好調を維持するものとする。
		広告代理店（営業担当）	・国内経済状況は先行き不透明であり、県内企業の販売促進への投資に少なからず影響していることから、現状から大きく好転することは考えにくい。
	やや悪くなる	食料品製造業（管理部門）	・今後、競合他社との競争が激化する。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・建設工事自体は横ばいの見通しだが、製品需要の引き合いは厳しい見込みである。
	悪くなる	－	－
	雇用 関連	良くなる	－
やや良くなる		求人情報誌製作会社（営業担当）	・一般企業の求人数は増加傾向が継続する。ただし、情報通信業の求人数は減っている。

	職業安定所（職員）	・観光客は増加傾向にあり、観光関連企業の求人に影響していく。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・今後は採用活動が落ち着きをもせる可能性もあるが、引き続き更なる好調を期待する。
変わらない	人材派遣会社（総務担当）	・夏の観光シーズンも一段落しており、また、円高等の企業の不安要素もあるので、企業の新規採用や派遣社員の活用も、しばらくは様子見が続くと予想される。
やや悪くなる	—	—
悪くなる	—	—